

## Web 版付録5 データの読み込みと呼び出し（改訂版）

### 5-1 外部データファイルの読み込み

#### <Windows 7, 10 およびVista 用>

【初版からの変更点】 Windows 10 に関する記述を加えました。

【注意】 Web 版付録5-2 と5-3 は、別のリンクにあります。

R コマンドーは、テキストファイルやExcel ファイル等の形で作成されたデータのファイルを読み込んで、分析をすることができます。ここでは、Web 版付録4 でダウンロードした“多変量解析データセット”のフォルダに含まれるデータファイルの読み込み方法を例にして説明します。

なお、以下の説明は、次のコンピュータ環境を前提にします。

#### ■ 基本ソフト (OS) : Windows 7

【注意】 Windows 10 やVista をお使いの方は、ウィンドウの表示が以下の説明で使用される操作説明図とは少し異なることがあります。しかし、操作方法はほとんど同じです。

### 外部データファイルの読み込み方法

Web 版付録4 でダウンロードした“多変量解析データセット”のフォルダに含まれる“キャットフード(ウエットタイプ)”というデータファイルを、Catfood01 という名前で R コマンドーに読み込む方法を例にして説明します。

#### 1. 簡易ワープロソフトのワードパッドを起動します。

##### a) Windows 7 または Vista の場合

Windows の左下隅にあるスタート



をクリックし、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ワードパッド」と進みます。

##### b) Windows 10 の場合

Windows の左下隅にある Windows マーク



をクリックし、「すべてのアプリ」→「Windows アクセサリ」→「ワードパッド」と進みます。

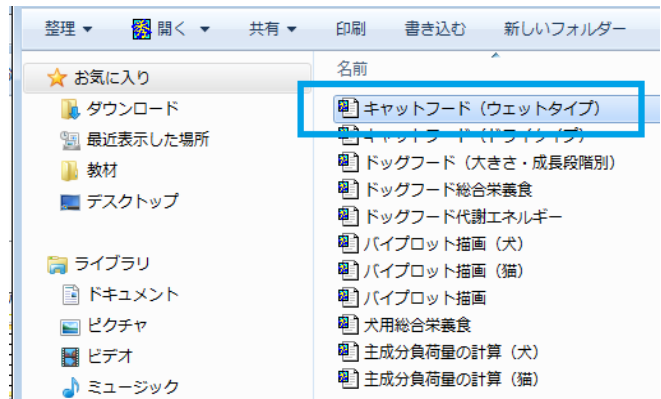
操作説明図 E-101

- 操作説明図 E-101 にあるように、ワードパッドの左上にある下向き矢印のついている青いタブをクリックし、表示される選択肢から「開く」を選びます。“開く”という名前のついたウィンドウが開きます。



操作説明図 E-102

- Web 版付録 4 で作成した“多変量解析データセット”のフォルダをダブルクリックすると、操作説明図 E-102 のウィンドウが開きます。その中にある“キャットフード(ウェットタイプ)”のデータファイルをダブルクリックすると、操作説明図 E-103 のように、ファイルの内容が表示されます。

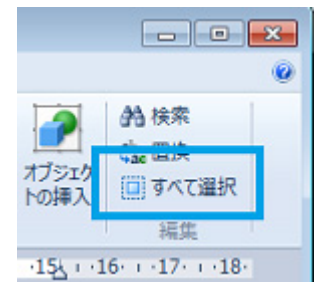


操作説明図 E-103

商品名	対象	タンパク質	脂質	粗灰分	粗繊維	水分	デンプン	食物繊維	アラキド
ン酸	オメガ6系不飽和脂肪酸			オメガ3系不飽和脂肪酸			EPA+DHA	代謝工	
ネルギー	< NRC85 >	代謝工	ネルギー	< ロイヤルカナン実測値 >			カルシウム	リン	
	ナトリウム	塩素	カリウム	マグネシウム	銅	鉄	マンガン	亜鉛	セレン
	ヨウ素	ビタミンA	ビタミンD8	ビタミンE	ビタミンB1	ビタミンB2			
	パントテン酸	カルシウム	ビタミンB6	ビタミンB12	ナイアシン	ピオチン	葉酸		
	コリン	ルテイン	レコチニン	コパロイチン	核酸+グルコサミン	タウリン			
パピーキャット	離乳期の子猫	8.5	3.5	2	82	1.7	1.5	0.12	
		1.2	0.15	0.08	912	952	0.18	0.16	0.14
		3.7	23	6.8	22	0.27	0.5	45	290
								11.5	20
									8

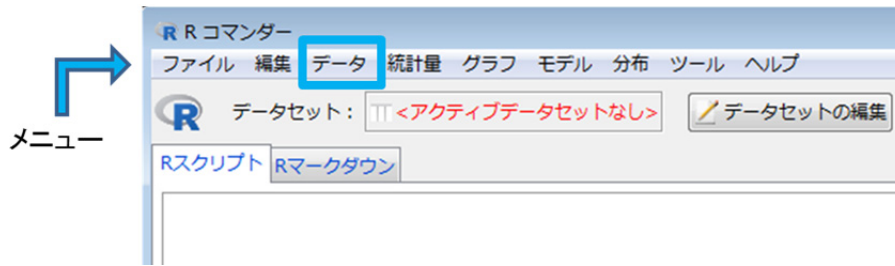
操作説明図 E-104

- 操作説明図 E-104 のように、ワードパッドのウィンドウの右上にある「すべて選択」をクリックして、データすべてを反転表示させます。



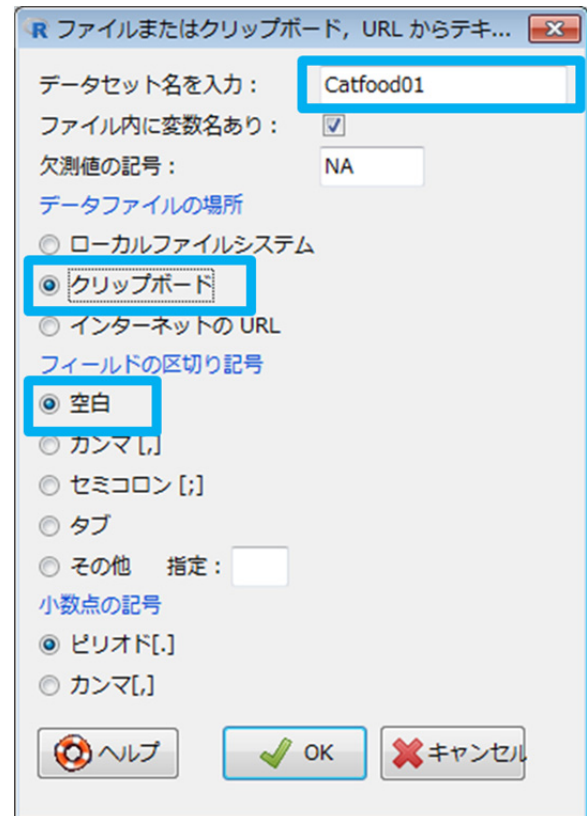
- 反転表示させたデータの上でマウスを右クリックし、「コピー」を選びます。
- ウェブ版付録 3 「R コマンドーの起動と終了」の手順にしたがって、R コマンドーを起動します。

操作説明図 E-105



7. R コマンダーのウィンドウ上部を表示した操作説明図 E-105 において、メニュー（ファイル、編集、データ、…、ヘルプと表示されている行）から「データ」を選び、表示される選択肢の中から「データのインポート」→「テキストファイルまたはクリップボード、URL から…」と進みます。操作説明図 E-106 のウィンドウが開きます。

操作説明図 E-106



8. 操作説明図 E-106 のウィンドウで、「データセット名を入力:」の欄に Catfood01 と入力し、データファイルの場所では“クリップボード”に印をつけ、フィールドの区切り記号は“空白”のままにします。その上で、左下の **OK** をクリックします。

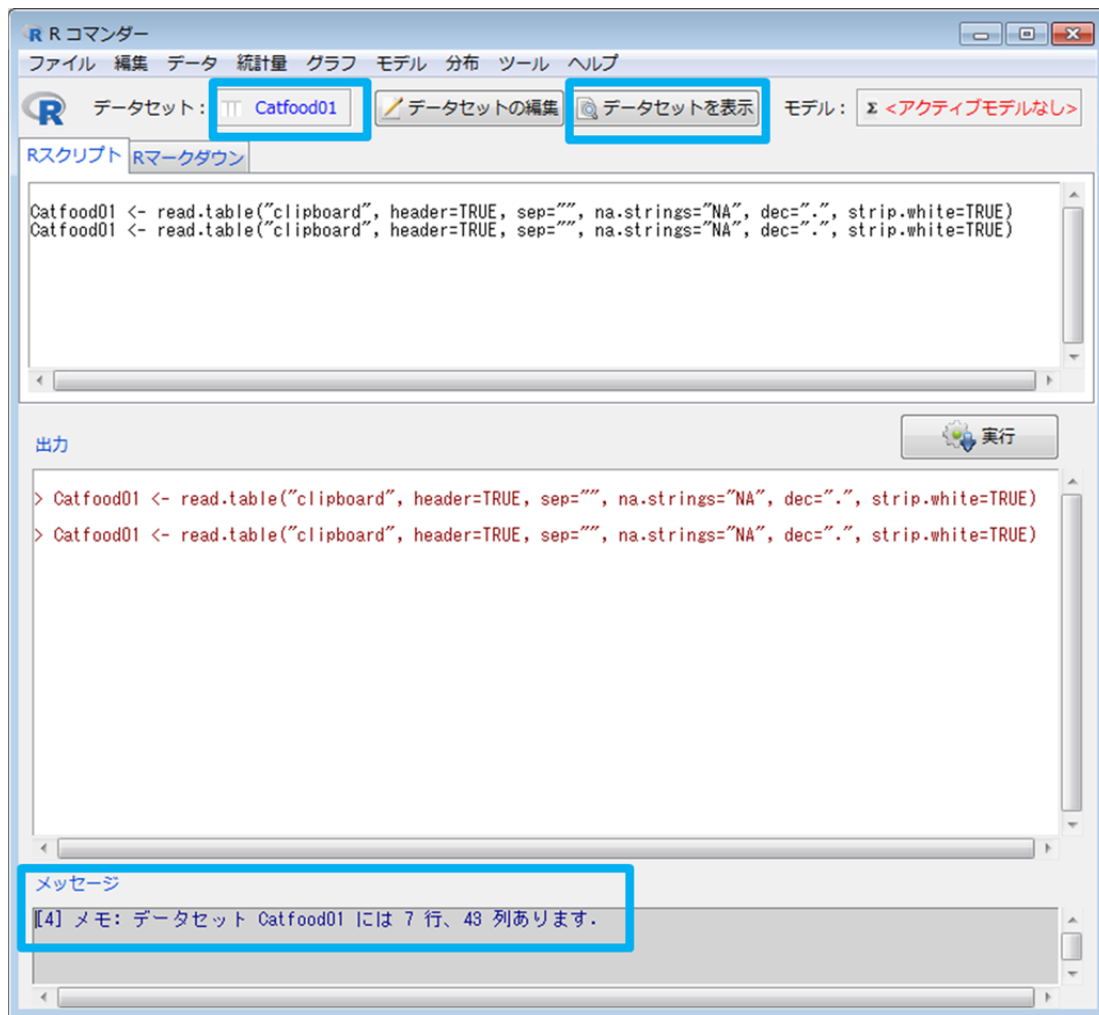
**【参考】** 操作説明図 E-103 で見るデータファイルにおいて、データがカンマ “,” 記号で区切られている場合は（CSV 形式という）、手順 8 でフィールドの区切り記号の箇所では“カンマ”に印をつけます。

9. 操作説明図 E-107 のように、R コマンダーのウィンドウの「データセット:」の欄に Catfood01 と青で表示されれば読み込みは成功。また、読み込みが成功していれば、R コマンダーのウィンドウ下部にある“メッセージ”という箇所に次の表示が出ます。

**メモ:** データセット Catfood01 には 7 行、43 列あります。

ただし、行数と列数は、読み込んだデータファイルによって異なります。

## 操作説明図 E-107



10. R コマンダーのウィンドウ上部にある **データセットを表示** ボタンをクリックすると、読み込んだデータ内容を表示したウィンドウが現れます。そのウィンドウを見れば、データファイルが R コマンダーにきちんと取り込めているかどうかを確認することができます。